



ジュネーブ、ブリュッセル、2022年2月24日

## ウクライナ——対話と外交が唯一の打開策

ウクライナをめぐる緊張が続く中、インダストリアル・グローバルユニオンとインダストリアル・ヨーロッパ労働組合の加盟組織は、紛争の段階的縮小と平和的解決を要求する。現在の緊張は主に庶民に影響を及ぼし、日常生活を混乱させて将来への不安を高めている。地域全体も不安定になり、経済的・社会的困難が悪化している。

インダストリアル・グローバルユニオンとインダストリアル・ヨーロッパ労働組合は、ウクライナ、ロシア連邦、アメリカ、EU および国際組織の関連政策当局に対し、ウクライナの安定した平和的な解決の確保ならびにヨーロッパとウクライナの近隣諸国の安全保障のために、対話と政治的解決の1つに向けたプロセスに集中すべく努力を倍加するよう要請する。

危機を解決するために外交を優先しなければならない。軍事対決は人道面で悪影響を及ぼし、長期的で持続可能な解決策からさらに遠のくだけである。

私たちは、あまりにも長い間地政学的紛争の人質となってきた地域で、すべての労働組合との連帯を表明する。国境を越えた労働組合連帯も要求する。平和と安全だけが持続可能な経済回復の条件を整えると同時に、労働者とその家族のために効果的な水準の社会的公正と社会的保護を確保することができる。

ミハエル・バシリアディス  
会長  
インダストリアル・ヨーロッパ労働組合

イェルク・ホフマン  
会長  
インダストリアル・グローバルユニオン

リュック・トライアングル  
書記長  
インダストリアル・ヨーロッパ労働組合

アトレ・ホイエ  
書記長  
インダストリアル・グローバルユニオン